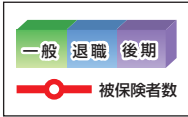
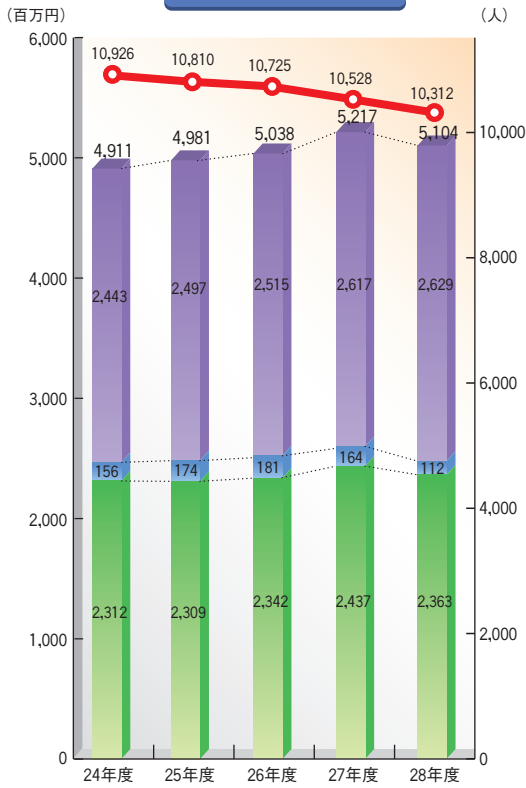


上三川町

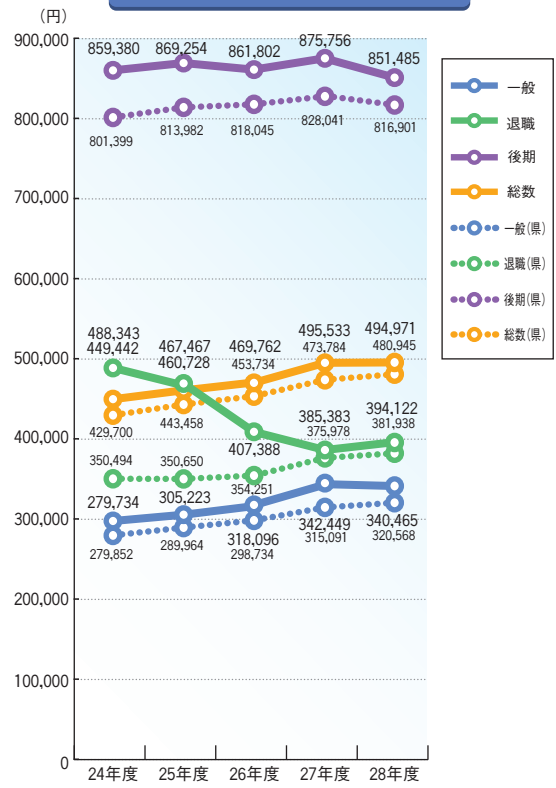
上三川町



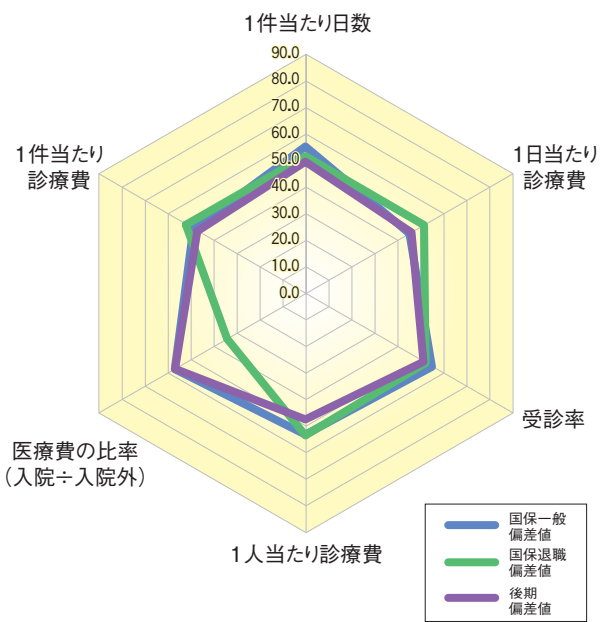
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

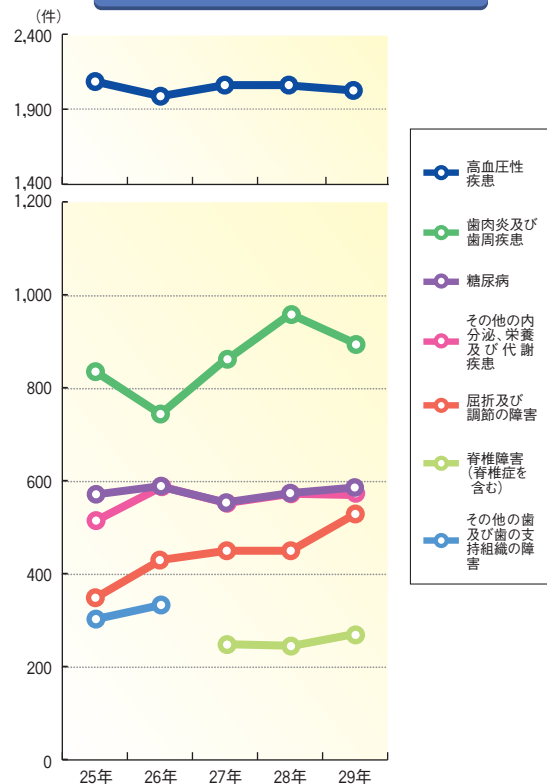


平成28年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

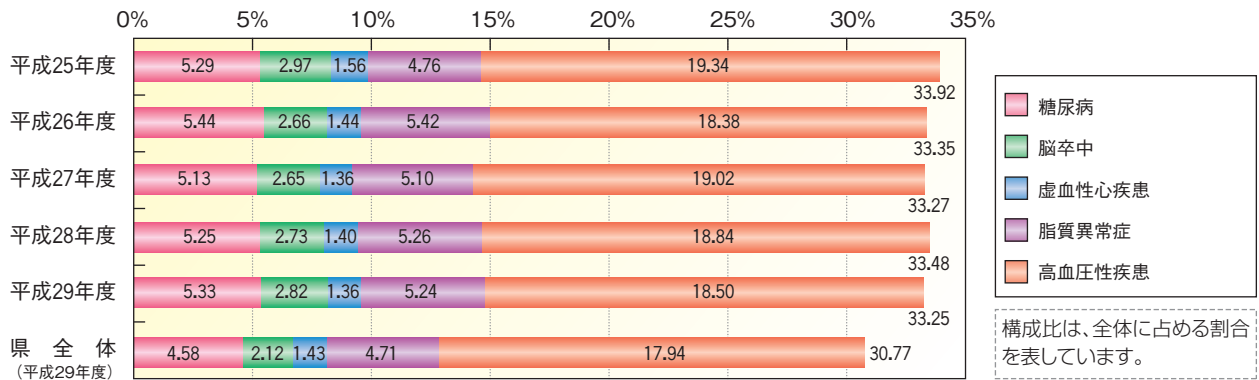


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

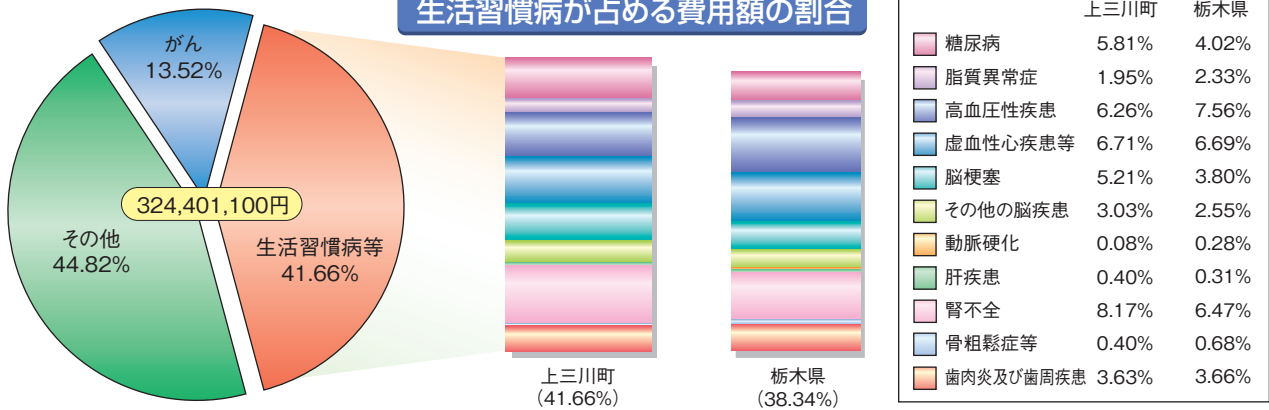
多受診疾病上位6位の推移



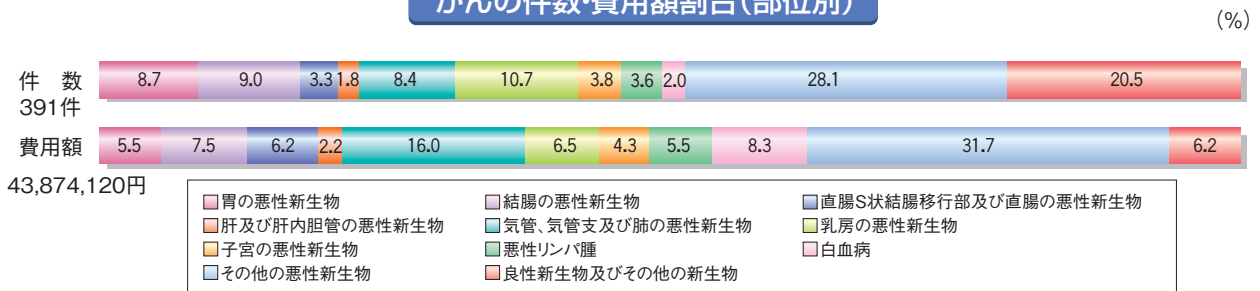
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



上三川町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成28年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,362,828千円(97.0%)、退職111,931千円(68.3%)、後期2,629,387千円(100.5%)で、全体では5,104,145千円(97.8%)と減少している。()は前年度との比較。

平成28年度平均被保険者数は10,312人で、内訳は一般6,940人、退職284人、後期3,088人である。前年度比較すると全体で98.0%と減少している。

また、平成28年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は494,971円(562円減)、一般は340,310円(1,984円減)、退職は394,122円(8,739円増)、後期は851,485円(24,271円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療費諸費(県平均との比較)をみると、一般は1日当たり診療費、1件当たり診療費以外の率がいずれも高く、退職は医療費の比率以外がいずれも高い偏差値となっており、後期は受診率、医療費の比率が高い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成29年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位屈折及び調節の障害、6位脊椎障害(脊椎症を含む)で、中でも5位の屈折及び調節の障害は、平成25年と比べ件数は1.52倍、費用額は1.85倍となっている。

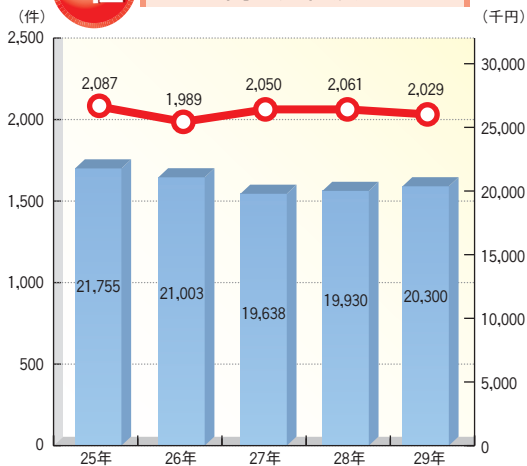
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、その中でも高血圧性疾患の占める割合が高い比率となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成29年5月診療分の総費用額が324,401,100円で、がんが13.52%、生活習慣病等が41.66%を占めている(県全体 がん12.74%、生活習慣病等38.34%)。費用額の占める割合が高い疾病は、腎不全8.17%、虚血性心疾患等6.71%、高血圧性疾患6.26%となっている。

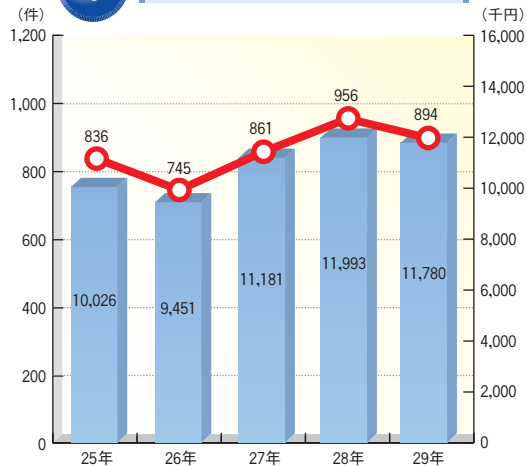
がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、乳房の悪性新生物、費用額では気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

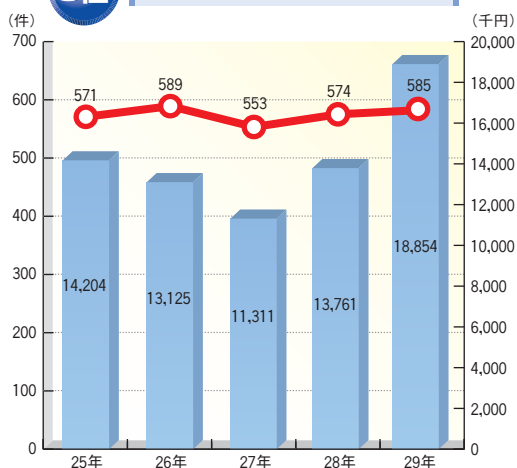
1位 高血圧性疾患



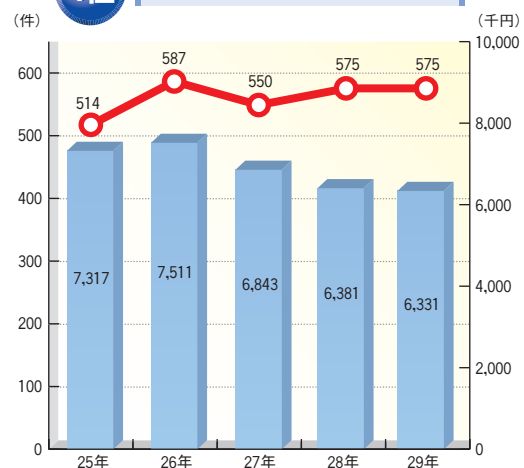
2位 歯肉炎及び歯周疾患



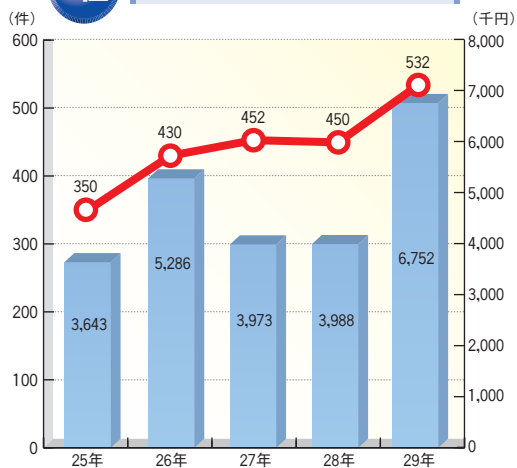
3位 糖尿病



4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位 屈折及び調節の障害



6位 脊椎障害(脊椎症を含む)

